

NO.
31

すぐすぐ
つみどり

鉢で育てる
ライラック



もくじ

- 2 はじめに
- 3 基本情報 ライラックとは
- 5 ライラックの4つの系統・鉢植えに向く系統
- 9 鉢植え栽培の魅力と楽しみ方
- 12 鉢植えの栽培方法
- 18 鉢植え栽培に向く種類
- 23 ライラックが見られる札幌市内の公園
- 25 園芸に関するご相談
- 26 令和4年度札幌市都市緑化基金事業報告
- 29 札幌市都市緑化基金

はじめに

ライラックの札幌への導入は、明治23年（1890）年に北星学園創設者のサラ・スミス女史が、故郷アメリカに一時帰国した際に持ち帰ったのが始まりとされています。

その後、冷涼な札幌の気候での栽培に適したライラックは、街中に広がっていき昭和40（1965）年代には、庭のある家の半数に植栽されていたと言われています。

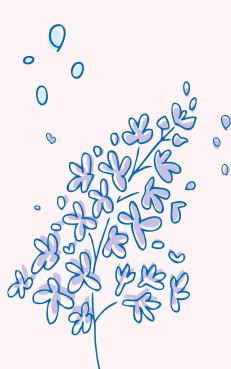
平成に入ってからはライラックの園芸品種の導入が進み、川下公園、創成川公園、百合が原公園などにライラックのコレクションが造成され、原種と園芸品種を併せて約300種類を市内の公園で観賞することができるようになりました。

開花期の5月から6月にかけて、公園や個人の庭に植えられたライラックが、街のいたるところで開花する風景は、やさしい甘い香りとともに、北国札幌らしい街の景観をつくり出しています。

しかし、近年では、住宅環境に変化が見られ庭を持たない家や集合住宅の増加などにより路地植えでライラックを育てるができる環境が減少しています。

ライラックには、小型で鉢植えに向く種類があり、広い庭が無くてもバルコニーなどの小さなスペースで育てることができるから、このすくすくみどりでは、鉢植えに向く種類や育て方の紹介を通して、皆様が「札幌市の木 ライラック」を育てるきっかけになることを期待します。

ぜひ、この機会にライラックを育ててみませんか。

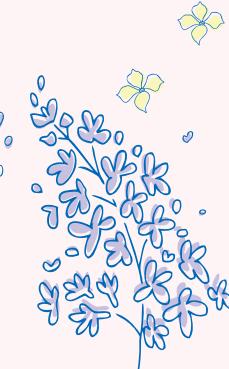


基本情報

ライラックとは

モクセイ科のハシドイ属

学名	<i>Syringa L.</i>
和名	ハシドイ
英名	lilacs
仏名	lilas
中国名	丁香



名前の由来

学名は、ギリシア語のSyrinxに由来し、枝の髓をくり抜いて管やパイプをつくったことに因みます。和名のハシドイは、花が枝の先に集うことから「端集い」から転じたと言われていますが、他にも諸説あります。英名のlilacsと仏名のlilasは、青色を意味するサンスクリット語のnilaから転じたと言われています。中国名の丁香はクローブと同じ漢字で、花がフトモモ科のクローブに似ていることに由来します。

特徴

ライラックは、落葉性の中高木で、前年の枝の先に花芽を形成し、落葉後に一定期間の寒さに当たることで休眠から覚めて芽を吹きます。札幌では、例年5月から6月にかけて開花します。

ハシドイ属の園芸品種の登録機関に指定されている国際ライラック協会では、花の色を右記の7色に分類しています。

I ホワイト
II ヴァイオレット
III ブルー
IV ライラック
V ピンク
VI マゼンタ
VII パープル

札幌市の木に指定された経緯

札幌市の人口が50万人を超えたこと、またポートランド市との姉妹都市提携を記念して、観光都市にふさわしいシンボルを決めるために、昭和35年に市民投票が行われました。

その結果、花（スズラン）、鳥（カッコウ）とともに、札幌市の木に選ばされました。



市民投票結果

順位／項目	花	木	鳥
1位	スズラン 17,685票	ライラック 16,821票	カッコウ 14,179票
2位	チューリップ 6,136票	アカシア 14,163票	カナリヤ 13,954票
3位	バラ 5,906票	ポプラ 4,326票	ウグイス 2,631票

さっぽろライラックまつり

札幌の初夏の風物詩ともなっている「さっぽろライラックまつり」は、昭和34(1959)年から開催され、令和5(2023)年で65回目を迎えます。

「ライラックの花が咲き揃う季節に文化の香り高い行事を行う」という文化人の呼びかけにより始まったのがライラックまつりです。

大通公園の「大通会場」と第50回開催から会場に加わった川下公園の「川下会場」では、ライラックツアーやコンサートなど、さまざまなイベントが行われています。

ライラックの4つの系統



1 シリンガエ系 Series Syringae

札幌市内で一般的に見かけるライラック(ムラサキハシドイ)など5種の原種が含まれます。

樹高は3~5mになります。

ライラックの代表的な系統で、世界的に最も普及が進んでおり、多くの園芸品種が作出されています。



2 リグストリナ系 Series Ligustrina

日本の北海道から九州にかけて自生するハシドイをはじめ、3種の原種が含まれます。大型の系統で樹高が10mを超えることから、一般家庭ではあまり栽培されず、街路樹や公共施設などに植栽されています。

最も遅咲きの系統で、花筒が短く、おしべとめしべが花筒から突き出るのが特徴です。



原種は、南東ヨーロッパから東アジアにかけて約20種以上が分布しています。南東ヨーロッパに2種のみが分布していて、残りの大部分が中国や朝鮮半島などの東アジアに分布しています。日本にもハシドイが北海道から九州にかけて分布しています。原種は、4つの系統に分類されていて、各系統を跨いでの交雑はしないとされています。

3 プベスケンテス系 Series Pubescents

中国、朝鮮半島の標高の高い場所に4種が自生します。細い枝を多く分枝させ、樹高1~3m程度と小型の系統です。開花期は、一般的なライラックと同じか一週間ほど遅いです。

繰り返し開花する個体もあり、この系統の特徴になっています。



4 ウィルロサエ系 Series Villosoae

南東ヨーロッパに1種、残りは中国を中心とした東アジアに9種が自生し、計10種からなります。樹高は、5~7m程になる大型の系統です。一般的なライラックの終花後に開花する遅咲きの系統です。葉のある当年枝の先端に花を咲かせることが特徴です。

カナダのプレストン女史が、これらの種を掛け合わせて作出した耐寒性の高い品種群は、プレストンライラックと呼ばれています。



鉢植え / に向く系統

ライラックは、根の生育が旺盛で制限のある鉢植えでは、生育や花付きが悪くなる種類も多いですが、先に紹介した4つの系統のうち、プベスケンテス系が最も鉢植えでの栽培に向いています。

この系統は、ヒメライラックやドワーフライラックとして流通しており、樹形や花、葉など全体的に小ぶりな種類です。

同じくヒメライラックとして、コバノハシドイ (*Syringa × chinensis*) が流通することがあります、一般的なライラックと同じシリング工系に分類され、鉢植えでは大きめの鉢での栽培が必要です。

鉢植えに向くこのプベスケンテス系は、中国と朝鮮半島の標高の高い、岩場に自生しています。他の系統に比べて、小型で花付きがよく、鉢植えで毎年多くの花を咲かせ、盆栽の素材として使われることもあります。

プベスケンテス系は亜種を含む4つの原種からなります。

プベスケンテス系の原種

種類	学名	原産地
ハナハシトイ	<i>S. pubescens</i> subsp. <i>pubescens</i>	中国
チャボハシトイ	<i>S. pubescens</i> subsp. <i>microphylla</i>	中国
チョウセンハシトイ	<i>S. pubescens</i> subsp. <i>patula</i>	朝鮮半島
シピネトルム	<i>S. pinetorum</i>	中国



小型で鉢植え向きのプベスケンテス系（手前）
高木になるリグストリナ系のハシトイ（奥）



加里山の山頂の岩場に自生するチョウセンハシトイ
(韓国、江原道)

プベスケンテス系の特徴

- 鉢植えでは、10年ほど栽培しても樹高40~80cmと小型。
- 多くの細い枝を出し、樹形がこんもりとまとまる。
- 花付きがよく、小花は1cmほどと小さく、香りがよい。
- 生長が遅く、樹高や樹形の管理がしやすい。
- 紅葉が綺麗な種類が多い。



円錐状の花房で、花びらは乳白色を帯び、蕾の色との対比が美しい。



樹形は、這性から立性まで様々

鉢植え / 栽培の魅力と楽しみ方

鉢植え栽培は、路地植えと比べて水やりや植替えなどの作業が増えますが、鉢植えならではのメリットがあります。

- 庭が無くても、小さなスペースで栽培できる。
- 観賞や生育に適した場所や悪天候時に鉢を移動できる。
- 水やりなどで関わる機会が多くなり、健康状態や季節による変化に気づきやすくなる。
- 路地植えに比べて、紅葉しやすい。
- 好みの植木鉢を選ぶ楽しみが増える。



魅力 バルコニーなど小さなスペースで栽培できます。



楽しい 移動ができることで活用方法が広がります。ウェルカムフラワーとして開花期に、玄関脇などへ置くことで札幌らしいおもてなしの景観が作り出せます。



楽しい 開花時の花の色や置く場所をイメージして、雰囲気に合った好みの植木鉢を選ぶことも、楽しみの一つです。



魅力 ライラックにはめずらしい秋の紅葉も魅力です。

もともと紅葉する種類ですが、鉢で栽培することにより、紅葉が促進されます。鉢栽培は、路地植えと比べて土壤が乾燥気味になることで、紅葉が早くに始まり、色も濃くなる傾向にあります。

種類によって紅葉の色や開始時期は異なりますが、その年の気候や栽培環境により、葉の色も変化するので、この違いも楽しみの一つです。

一般的には、日当たりが良いこと、秋の昼夜の寒暖の差が大きいこと、風が弱く空中湿度が高いことが、良い紅葉の条件になります。



紅葉の色は、
黄色から濃紫色まで幅が
あります。



鉢植え の栽培方法

生育サイクル

札幌では、4月に萌芽して枝が伸び始めて、6月下旬頃に枝の伸長が止まります。その後、枝の充実と翌年に開花する花芽を作ります。11月に落葉して休眠期に入ります。冬期間に一定の低温に当たることで休眠から覚めて、春の気温の上昇とともに萌芽するサイクルを繰り返します。

開花は、5月から6月です。種類によっては8月頃に繰り返し開花することがあります。

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生育サイクル				開花期								
		伸長期				充実期・花芽形成期				休眠期		
植替え	■								■			
施肥	■	■		■	■							
花がら取り				■	■							
剪定				■	■	■						
挿木					■	■						
種子まき	■											

置き場所

- 屋外の、日当たりと風通しの良い場所で栽培します。
※日照6時間以上が理想的ですが、4時間以上あれば栽培できます。
- 土の上に直接鉢を置くのを避け、レンガなどの上に置きます。
※鉢底から土壤に根が伸び、移動した際に根が切れて生育が悪くなります。
- 開花期や雨が続く時期には、軒下など雨の当たらない場所に移動します。

水やり

- 水やりは、土の表面が乾いたら、鉢底から水が流れ出るまで行います。
※受け皿を置いている場合は、貯まった水はすぐに捨てます。
- 開花時期は、水をよく吸い上げて土が乾きやすいので、注意します。

植え替え

- 植え替えは、毎年1回、10月または、春の芽吹く前に行います。
- 植え替える鉢は、毎年1号（直径3cm）大きいものに替えます。また、次の理由から、急に大きな鉢に植え替えることは、避けるようにしましょう。
 - △鉢内が加湿になり、根腐れを起こす。
 - △枝の生長の止まりが遅くなり、
 - ・凍害による枝枯れを起こす。
 - ・花付きが悪くなる。
- 用土は、特別な土は必要としませんが、水はけが良いことが最も大切です。

参考：赤玉土（小粒）：火山礫（えぞ砂）：腐葉土を同じ量を良く混ぜて使用。



左：赤玉土、右：火山礫（えぞ砂）、下：腐葉土

植え替え手順

- 鉢から根鉢を取り出し、絡まった根をほぐしながら1/3程の土を手で落とします。
- 鉢底に土を敷いて、株の高さを調整します。
※表土を鉢のへりから3cm下げる位置として、水やりスペースを確保します。
- 株回りに土を入れて、指や棒で締固めながら根と土を密着させます。
- 植え終わったら、たっぷりと水やりを行います。



施肥

施肥は、年2回行います。

- 生長のために、春の萌芽の時期に油粕など緩効性の肥料を施します。
- 翌年の花付きを良くするために、花後にリン酸肥料を施します。



花がら取り・剪定

- 花後（6月中旬頃）に花がら取りと剪定を行います。
花がらは、残しておくと種子の生産に養分を取られるため、株が衰弱したり翌年の花付きが悪くなります。このため、種子を収穫したい場合は必要な量を残しますが、できるだけ早めに取り除きます。花がら取りは、花房下の葉の付いた枝を残して切り取ります。
剪定は、行わなくとも樹形がまとまるので、枯枝の除去と混みあつた枝を間引く程度で構いません。
- 翌年に咲く花芽を花後から作り始めるので、遅くとも7月中旬までにはこれらの作業を行います。



葉の付いた枝の上でカット

主な病虫害

虫害

ハマキムシ、小さな蛾の幼虫で葉を食害します。葉を巻き込んだ中や新芽の中にいます。手で取り除いて防除をします。



コガネムシの幼虫

土の中で、根を食害するため見つけることが難しいです。植物の生育が悪く、用土の乾きが遅い場合にいる可能性が考えられます。植え替えの際に、用土の中にいないかを確認します。



病害

灰色かび病
高温多湿時期に多く発生し、葉や花に褐色の病斑症状が現れます。長雨が続く時は、風通しが良く、雨の当たらない場所に鉢を移動することで、発生を抑えることができます。

コガネムシの幼虫▶

冬期の管理

耐寒性は、-20°C以上と寒さに強い植物ですが、積雪による枝折れと、雪解け時に雪腐れ病を発症することがあります。

- 鉢を土に埋めてコンテナを被せる、雪の当たらない場所に置くなどして冬越を作ります。また、雪解け時に滞水する場所は避けます。

挿し木による増殖

挿し木増殖は、親株と同じ個体（クローン）を得ることができます。ライラックの中でもプベスケンテス系は、時期や置き場所などのポイントを抑えることにより、挿し木による増殖が容易な種類が多いです。

挿し木手順

挿し木床の準備

挿し木の適期は、花後4週間ほど経過した6月下旬から7月上旬です。
今年伸びた枝が固まって、指で掴んだ時に柔らかくない状態が良いです。
清潔な容器を用意します。穴を開けたフルーツパックなど透明な容器を使うことで、発根したことを確認しやすくなります。
市販の挿し木の土や赤玉土（小粒）などの清潔な用土を使用します。
栽培で使用した土や堆肥などの腐植質は使用しません。
用土は挿し木前に、濡らしておきます。

挿し穂の作り方

半日前に、挿し穂を採取する鉢にたっぷり水やりをします。
今年伸びた枝を4節切り取り、下段の2節は葉を落とします。
※先端に柔らかい葉がついている場合は、切り落とします。
最下部の節の下5mmを残して、斜めに切れます。



挿し木作業

挿し床に、割りばしなどで挿し穂を挿す穴を開けます。
挿し穂を用土に挿し、用土を押して挿し穂と用土を密着させます。挿し木後、すぐにたっぷりと水やりをします。

置き場所

家屋の北側などの、風が弱く、湿度が高く、直射日光が当たらない明るい日陰が最適です。

管理

挿し木後の一週間は毎日水やりをします。
その後は、水やりの回数を減らして乾く前に水やりをします。

乾燥する場所では、周囲への散水や霧吹きで葉に水をかけて湿度を高めます。

発根を確認するために、挿し穂の抜き挿しは絶対にしてはいけません。順調にいけば挿し木後3、4週間ほどで発根してきます。

右の写真のように根が出てきたら、根を傷つけないように取り出し、直径9cmの鉢に植え替えます。その後は、鉢植えの栽培に準じて管理を行います。



挿し木4週後の根の様子。

種子まきによる増殖

種子まき増殖は、花や樹形など親とは異なった形質の個体が生まれるため、育てる楽しみが広がります。

この系統の多くが自家受粉するため、一株あれば蝶などにより受粉されて種子を得ることができます。

花後に、花がらを取りらず秋に蒴果（さくか）が茶色になったら、種子を採集する方法が最も簡単に種子を得る方法です。

種まき手順

- 種子は、取ってすぐにまいても発芽します。しかし、これから冬を迎えるため翌春まで乾燥状態で、冷凍庫で保存し、5月に入ってから種子をまきます。
- 種子まき用土などに種子をまき、その上に用土を1cmの厚さでかけます。用土を乾かさないように水やりをします。
- 3週間程度で子葉の双葉が発芽するので、その後に2、3対の本葉がでたら、9cmポットに植え替えをします。その後は、鉢植えの栽培に準じて管理を行います。



秋の蒴果の様子、一つの蒴果の中に2~4粒程の種子が入る。



蒴果から取り出した種子。



秋の苗の様子。
左から種まき当年、
2年目、3年目。

交配

こんな花が作りたいなどのイメージがある場合は、子房親と花粉親を決めて、交配の作業を行います。

交配手順

- 開花している小花は、すでに受粉している可能性があるため子房ごと取り除きます。
- 蕾を指で挟んで引っ張り、花びらを取り除くと、マッチ棒の様な形をしたメシベが現れます。
- メシベの先端に、他の花から取った花粉（黄色粉状）を付けます。
- 茶こし袋などで覆い、ケーブル止めなどで下部を固定します。
※この作業は、他の花粉が着かないようすることと、虫の食害を防ぐためです。
- ラベルに、子房親、花粉親の名称や交配した日付などを記載して取り付けます。
- 11月に蒴果が茶色くなったら採集し、種子を取り出します。



左 開いた小花は子房から切り取る。

右 開いている小花と蕾を取り除き、
メシベが出た状態。

先端に花粉を付けて受粉させる。



花筒の中にあるオシベの先端に
黄色の花粉が出ている。



上段左：子房親



茶こし袋で覆った状態
このまま秋の収穫を待つ。

下段：上段の両親の交配によって作出された多様な個体

鉢植え / 栽培に向く種類

一般的なライラックのシリング工系は、16世紀にヨーロッパに導入されました。19世紀にはフランスで品種改良が急速に進み、現在までに約2,000もの園芸品種が作出されています。一方で鉢植え向きのプベスケンテス系は、20世紀前半に入ってからプランツハンターにより欧米に導入されたと言われており、栽培の歴史は100年程度とまだ浅いです。

この系統の品種改良は、20世紀後半に入り本格的に行われるようになりました。現在、この系統の品種は約100種類が作出されるに留まりますが、約60品種が札幌に導入されています。

紹介するライラックは国内に導入された品種で、大通公園と川下公園で開催される「さっぽろライラックまつり」や、園芸店などで入手できる種類もあります。

ハナハシドイの園芸品種 *S.pubescens* subsp. *pubescens*

小型の品種が多く、花付きも良いため、鉢植えでの栽培に最も向く。



線香花火

写真の株は、2003年に種まきにより増殖された株で、約20年後でも樹高80cmと小型。次ページ左上の'Palibin' (バリピン) を親として作出された品種。

ハナハシドイの園芸品種 *S.pubescens* subsp. *pubescens*

小型の品種が多く、花付きも良いため鉢植えでの栽培に最も向く系統。



パリビン
'Palibin'



星屑
'Hoshikuzu'



雛あられ
'Hina-arare'



紫史
'Shishi'



プチ シュウ
'Petit Chou-hei'



春風
'Harukaze'



カブキ
'Kabuki'



香り玉
'Kaoridama'



スマイル カホ
'Smile Kaho'



薰風
'Kumpu'



ピンク アイス
'Pink Ice'



ヴァイオレット フィズ
'Violet Fizz'



雪兎
'Yuki-usagi'



飛燕
'Hien'



星の砂
'Hoshi-no-suna'

チャボハシトイの園芸品種 *S. pubescens* subsp. *microphylla*

ハナハシトイよりやや大型で、立ち上がる樹形の品種が多いが、鉢植えでの栽培に向く。



スーパーバ
'Superba'



ジョージ イーストマン
'George Eastman'



チャーミング チホリン
'Charming Chihorin'

チョウセンハシトイの園芸品種 *S. pubescens* subsp. *patula*

大型の品種が多いが鉢植えでも栽培することができる。花付きはやや悪く、隔年で開花する傾向があるが、他のライラックに先駆けて紅葉する性質がある。



ミス キム
'Miss Kim'



シンデレラ
'Cinderella'



エクセレンス
'Excellens'

プベスケンテスの交雑種

系統内の交雑により作出された品種群。小型の品種も多く作出されており、様々な特徴を持つ。繰り返し咲く品種も作出されている。



雅
'Miyabi'



コルビーズ
ウィシングスター
'Colby's Wishing Star'



ピンク キャンディ
'Pink Candy'



四季藍
'Si Ji Lan'



ジョゼ
'Josee'



レッド ピクシー
'Red Pixie'



香雲
'Koun'



綿菓子
'Watagashi'



ピンク ペイヴメント
'Pink Pavement'



スプリング メドウ ナーサリー（アメリカ）で、
ブルーメランシリーズとして、作出された強健で花付きの良い品種群。

写真提供：
Spring Medow Nursery Inc. Tim Wood氏



流通名：BLOOMERANG ® DARK PURPLE
'SMSJBP7'



流通名：BLOOMERANG ® DWARF PINK
'SMNJRPI'

ライラックが見られる札幌市内の公園

ライラックの香りは、初夏の訪れを感じさせてくれます。札幌市内にいくつある、ライラックが見られるおすすめの公園と見頃時期をご紹介します。



白石区 川下公園

国内最大級を誇る ライラックコレクション

世界各国から集められた約200種類1,700株が植栽された「ライラックの森」では、国内最大のライラックコレクションを楽しむことができます。

住所 札幌市白石区川下2651番地3外

TEL 011-879-5311

中央区 大通公園

さっぽろライラックまつりのメイン会場

札幌の中心部に位置し、市民や観光客に親しまれている大通公園には、約400株のライラックが植栽されており、昭和34年(1959年)に、第1回ライラックまつりが行われました。



住所 札幌市中央区大通西1丁目~西12丁目

TEL 011-251-0438



中央区 創成川公園

全長820mのライラック並木を 歩きながら楽しむ

32種類200株ほどの「ライラック」が植えられています。都心部の中でライラックに囲まれながら園路を歩く「ライラックウォーク」が楽しめます。

住所 札幌市中央区南4条~北1条東1丁目・西1丁目

TEL 011-221-4100

ライラック見頃時期

エリア	公園名	種類・株数(約)	5月			6月		
			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
白石区	川下公園	200種類・1,700株						
	大通公園	400株(白30、紫系370)						
中央区	創成川公園	30種類・200株						
	中島公園	117株(うちハシドイ68株)						
北区	百合が原公園	50種類・300株						
	手稻区前田森林公園	400株						



中央区 中島公園

街中でリラと彫刻のコラボレーション

「百花園」付近にライラックが園路に沿って植えられており、山内壯夫作の彫刻とともにライラックが楽しめます。

住所 札幌市中央区中島公園1

TEL 011-511-3924

北区 百合が原公園

フラワーパークでゆったりと堪能

シラカバ林を背景にした「ライラックコレクション」では、芝生を取り囲むようにライラックが植栽されています。また、入り口に面する歩道沿いに、約650メートルに渡って連なるライラックの並木が見事です。



住所 札幌市北区百合が原公園210番地

TEL 011-772-4722



手稲区 前田森林公園

ライラックからフジへのリレー

木々に囲まれた園路沿いに、約400株のライラックが植栽されています。5月下旬頃から開花するフジとライラックが同時期に楽しめることもあります。

住所 札幌市手稲区手稲前田591番地外

TEL 011-681-3940

園芸に関するご相談

「咲き終わった花の手入れはどうするの?」「肥料はいつ頃何をやればいいのかな?」こうした園芸に関する様々な相談に、専門知識と経験豊富な「緑の相談員」がお答えします。直接お越しになるか、電話でも相談をお受けしています。



豊平公園緑のセンター

豊平区豊平5条13丁目

開館時間 8時45分～17時15分

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は次の平日)、年末年始(12月29日～1月3日)

緑の相談コーナー
011-811-9370

相談日 上記休館日を除く毎日
時 間 10時00分～12時00分、13時00分～16時00分

百合が原緑のセンター

北区百合が原公園210番地

開館時間 8時45分～17時15分

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は次の平日)、年末年始(12月29日～1月3日)

緑の相談コーナー
011-772-3511

相談日 4月下旬～10月下旬、毎週木曜日、日曜日
時 間 10時00分～12時00分、13時00分～16時00分

平岡樹芸センター

清田区平岡4条3丁目1-1

開館時間 8時45分～17時15分

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は次の平日)、11月4日～翌年4月28日

緑の相談コーナー
011-883-2891

相談日 4月29日～11月3日、毎週水曜日、土曜日
時 間 10時00分～12時00分、13時00分～16時00分



各センターでは、園芸、緑化、
自然などに関する書籍や雑誌類を
自由にご覧いただけます。

令和4年度札幌市都市緑化基金事業報告

1 植樹などによる民有地緑化事業

■記念樹プレゼント

植樹機会の誘引など民有地緑化の推進を図るため、札幌市民の結婚、出産、新築、入学などの人生の節目のお祝いに際して、自宅の庭などで苗木を育てる目的にライラック318本、オオベニウツギ76本、シラタマミズキ116本、ラベンダー50本、アナベル28本のほか、北海道日本花の会・中道リース株式会社様から寄贈のエゾヤマザクラ80本の合計668本の苗木を配布しました。



令和4年5月22日(日) 百合が原公園にて配布

■緑化ツタ苗の補助

民有地緑化の推進を図るため、自宅や事業所等の塀や建物をツタで覆う壁面緑化を計画する札幌市民に6件72株(補助は半数)のナツツタの苗を配布しました。

2 緑化推進に関する普及啓発事業

■キラリ!

さっぽろ公園30選 2022

緑化意識の高揚と啓発を図るため、札幌市内の公園・緑地で撮影した緑や花、憩いのひととき、自然とのふれあいなどがテーマのWEBフォトコンテストを実施し、グランプリ1点、準グランプリ2点、キラリ賞27点を選考しました。



グランプリ作品

「Crystal Evening」

撮影者 黒田一浩さん
撮影場所 モエレ沼公園

■ガーデンフェスタフォトコンテスト

令和4年度は恵庭市をメイン会場に開催された「第39回全国都市緑化北海道フェア(ガーデンフェスタ北海道2022)」の会期に合わせ、協賛会場・スポット会場の[百合が原公園、大通公園]で撮影したガーデンフェスタならではの風景などの写真を募集し、全応募作品をウェブサイトで公開しました。

2 緑化推進に関する普及啓発事業

■ ガーデンフェスタ北海道2022開催記念 第56回緑の絵コンクール

次代を担う子どもたちがみどりに親しみと興味を持ち、理解を深めてもらうため、札幌市内の小・中学生を対象に緑をテーマとした絵画コンクールを実施し、入賞作品47点、最優秀学校賞2校を選考しました。また、令和4年度は、ガーデンフェスタ北海道2022の記念事業として冠称を付して実施し、ガーデンフェスタ賞を創設しました。

参加学校数 70校

応募総数 384点

最優秀学校賞 札幌市立北九条小学校

札幌市立栄南中学校

表彰式 令和4年11月19日(土)

さっぽろテレビ塔ホール

入賞作品展 令和4年11月18日(金)
～11月22日(火)

会場 札幌地下街
オーロラコーナー



3 都市緑化サポーター養成事業

■ さっぽろまちづくりガーデニング講座

花や緑を通して地域や社会に貢献できるボランティア、都市緑化のサポーターの養成を目的に、まちづくりや園芸等の知識、技術を講義と実習で学ぶ連続講座を開講しました。

開催期間 令和4年4月2日(土)～11月26日(土)

内 容 各テーマによる講義と実習(全17回)

受講者数 12名



4 緑を通して地域コミュニティの活性化を促す事業

■ フラワー・ポットの貸出し

身近な花と緑の創出、地域の環境改善・美化、地域コミュニティの活性化などを図るため、札幌市内の団体にフラワー・ポットを3年間無料で貸し出しました。初年度には花苗と培養土を提供します。

貸出数4団体100基(花苗500株)

5 緑のまちづくり活動への助成及び支援

■ さっぽろガーデンシティ活動事業助成

都市緑化の推進や緑化活動によるコミュニティの活性化を図るため、団体などが行う花や緑を切り口としたまちづくり事業に対して、必要経費の一部を助成する事業募集を行いました。

※助成財源:一般財団法人民間都市開発推進機構(MINTO機構)からの拠出金

■ さっぽろ花と緑のネットワーク運営

花と緑のボランティア活動に携わる人、関心を持っている人へ相互交流ができるイベントの開催や活動に役立つ情報を提供するため、「さっぽろ花と緑のネットワーク事務局」を運営し、「花と緑のボランティア団体」「さっぽろタウンガーデナー」への登録の促進と活動等を支援しました。

登録者数(令和4年12月末現在)

- ・花と緑のボランティア団体 33団体
- ・さっぽろタウンガーデナー 295名

※さっぽろ花と緑のネットワーク
推進支援事業受託業務

さっぽろタウンガーデナー 登録者募集中!

さっぽろ花と緑のネットワークでは、さっぽろタウンガーデナーや登録団体に向けて、花や緑の緑化活動に関する情報発信や学習・スキルアップのための講習会などを実施しています。

お気軽に問い合わせください。



さっぽろ花と緑のネットワーク

問い合わせ先

TEL 011-251-3309

(平日 8:45～17:15)

www.sapporo-park.or.jp/flowers/



札幌市都市緑化基金

都市の緑は、私たちの生活に四季折々の季節感や心のゆとり、やすらぎ、うるおいなど、かけがえのない充足感を与えてくれます。札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、市民の協力を得ながら地域の緑化に努めて、現在、全国でも屈指の緑豊かな街として知られています。しかし、街全体が緑と花につつまれた、ゆとりとうるおいのある街を実現するためには、公園などの公共施設の緑だけではなく、個人の住宅や事業所の周辺など民有地の緑化がこれまで以上に求められています。

札幌市都市緑化基金は、皆様からの寄付金を積み立て、その果実(利子)で民有地の緑化や緑に関わる普及啓発を進めていくものです。私たちの街札幌を次代の市民に誇れるより緑豊かな魅力ある街にするため、札幌市都市緑化基金へご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄付のお申込み

専用の申込用紙に必要事項をご記入の上、直接お持ちいただくか、郵送でのお手続きとなります。詳しくは、ホームページをご覧ください。
<http://www.sapporo-park.or.jp/support/>

お問い合わせ先

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地16 ニューワンビル4F
公益財団法人札幌市公園緑化協会 TEL 011-211-2579

寄付金の払込方法

指定の銀行口座へご入金いただくか、現金でもお受けいたします。

銀行振込の場合

受取人口座名義 公益財団法人札幌市公園緑化協会

カナ ザイ) サッポロシコウエンリョクカキョウカイ

振込先銀行名 北洋銀行 札幌市役所支店

口座種類・番号 普通 0284016

※振込手数料はご負担をお願いいたします。

この他、当協会が管理する市内の公園窓口などに募金箱を設置しています。
緑あふれるまちづくりのため札幌市都市緑化基金の募金にご協力をお願いいたします。

著者

いはら ひでお
庵原 英郎

公益財団法人札幌市公園緑化協会勤務

百合が原公園管理事務所長ほか、豊平公園、平岡樹芸センターの管理を統括。ライラックの専門家として活躍し、百合が原公園では、冷涼な気候を活かしてシンボルのユリを初めとする多くの植物により、独自の景観を育成中。



百合が原公園

札幌市北区百合が原公園210番地

<https://yuri-park.jp/>



百合が原公園は、札幌市北区の総合公園として、昭和58年に開園した敷地面積25.4haの総合公園です。昭和天皇陛下御在位五十年記念事業で造成された「世界の百合広場」には、公園のシンボルである約100種類のユリが植栽されています。

多くの種類の植物がテーマを持った花壇に植栽されているほか、温室では冬でも色鮮やかな花に触れ合うことができる、札幌市を代表するフラワーパークです。

すくすくみどりNo.31 鉢で育てるライラック

文・写真 庵原 英郎

編集・発行 公益財団法人札幌市公園緑化協会

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地16 ニューワンビル4F
TEL 011-211-2579

令和5年3月発行

すくすく みどり



すくすくみどりは札幌市公園緑化協会ホームページから
ダウンロードできます。

<https://www.sapporo-park.or.jp/kikin/>



この冊子は札幌市都市緑化基金への寄付をもとに製作しています。